

問 5 書籍の卸売業者の受注システムに関する次の記述を読んで、設問 1, 2 に答えよ。

書籍の卸売業者の受注システム開発のために、オブジェクトを抽出し、その関係を示すオブジェクト図を作成し、それを基にクラス図を作成することにした。

[受注業務の説明]

- (1) 得意先から注文を受けると、受注伝票に受注日、得意先と注文された商品の商品名などを記入する。受注伝票の例を図 1 に示す。

受注伝票					
受注番号		12345	得意先	P書店	受注日
No	商品番号	商品名	単価	数量	小計
1	5001	UML入門	2,000	2	4,000
2	5011	XML（上）	2,500	1	2,500
3	6001	XMLセット	5,940	1	5,940
4					
:	:	:	:	:	:
10					
合計					12,440

図 1 受注伝票の例

- (2) 商品には、単独商品とセット商品がある。セット商品は、2 種類以上の単独商品を組み合せたものであり、セット商品としての商品名をもつ。セット商品の価格は、そのセットを構成する単独商品の価格の合計から 1% 割り引かれる。一度の注文では、10 種類を超える商品は注文できない。

受注業務のシステム化に当たり、システム化対象となる主なオブジェクトとその主要な属性を抽出し、複数のオブジェクト図を作成した。その一つを図 2 に示す。

図 2 は、P 書店から “UML 入門” を 2 冊、 “XML（上）” を 1 冊、 “XML（上）” と “XML（下）” のセット商品 “XML セット” を 1 セット受注したときのオブジェクト図である。

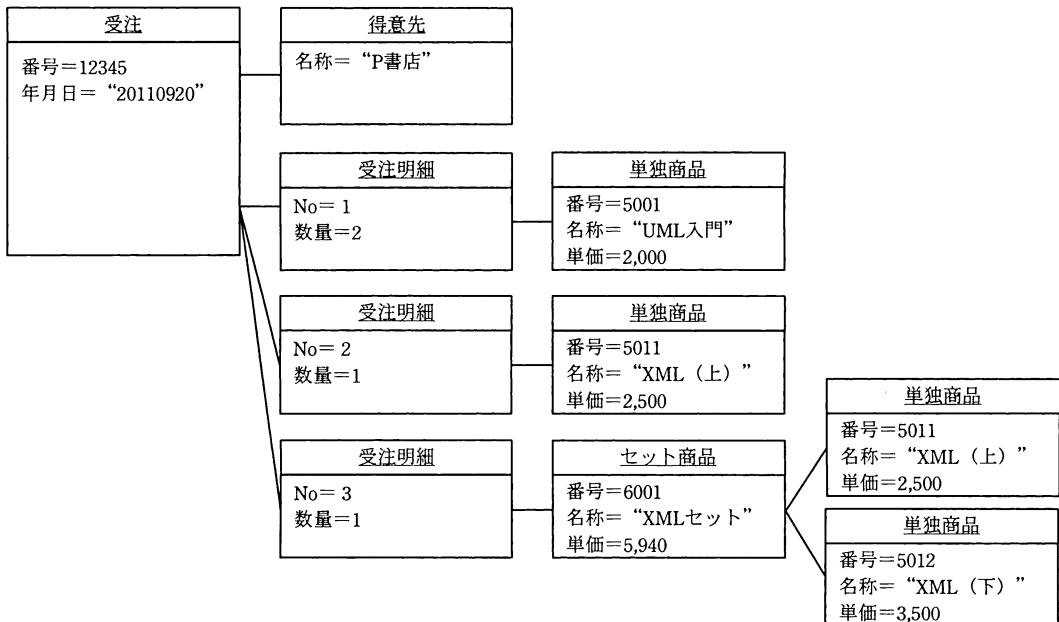


図2 オブジェクト図

次に、クラス抽出と多重度を検討して、図3に示す分析のためのクラス図を作成した。多重度とは、一方のクラスの一つのオブジェクトに対して接続されている、他方のクラスのオブジェクトの個数を示すものである。

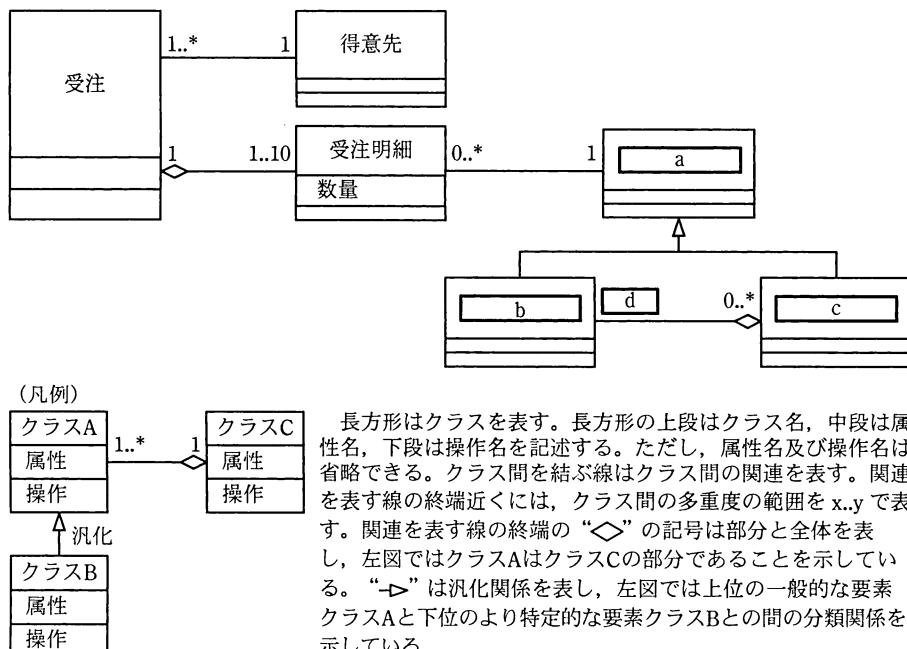


図3 分析のためのクラス図

設問 1 図 3 の [] に入る正しい答えを、解答群の中から選べ。

a～c に関する解答群

ア 商品

イ 商品番号

ウ 受注者

エ 受注伝票

オ セット商品

カ 単独商品

d に関する解答群

ア 0

イ 0..*

ウ 1

エ 1..10

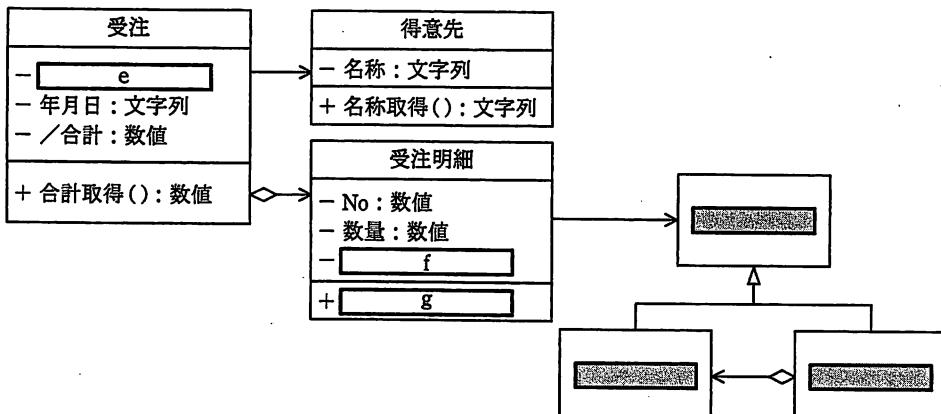
オ 1..*

カ 2

キ 2..*

設問 2 図 3 に基づいて、各クラスに必要な属性と操作を検討した。受注には年月日、合計などを保持し、受注明細には No, 数量などを保持することにした。また、受注の合計は、受注明細ごとの金額を求めてから算出することにした。

全てのクラスの属性と操作を検討した結果から、図 4 に示す設計のためのクラス図を作成した。図 4 中の [] に入る正しい答えを、解答群の中から選べ。



注記1 網掛け部分は表示しない。

注記2 多重度は省略する。

(凡例)

クラスA
-属性
-／属性
+操作

属性名の前にある “／” は、派生要素であることを示している。すなわち、この属性の値は他の属性から計算できる。
属性と操作の前にある “+” は、全てのクラスから参照可能であることを示し、“-” は自分自身のクラスからだけ参照可能であることを示している。

図 4 設計のためのクラス図

e に関する解答群

ア 商品番号：文字列	イ 商品名：文字列	ウ セット商品名：文字列
エ 番号：数値	オ 名称：文字列	

f に関する解答群

ア ／小計：数値	イ 商品名：文字列	ウ 年月日：文字列
エ 名称：文字列		

g に関する解答群

ア 受注日取得()：文字列	イ 小計取得()：数値	ウ 数量取得()：数値
エ 単価取得()：数値	オ 名称取得()：文字列	